

第3回 鈴鹿亀山道路有識者委員会 議事録

1. 日時・場所

平成26年3月10日(月)13:00～15:00
三重県教育文化会館 大会議室



2. 委員 (五十音順・敬称略)

委員長	名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授	松本 幸正
委員	三重大学人文学部法律経済学科教授	朝日 幸代
	三重短期大学生活科学科教授	岩田 俊二
	名古屋工業大学都市社会工学科准教授	増田 理子
	パブリック・ハーツ株式会社代表取締役	水谷 香織



3. 議 事

- (1)これまでの取り組みと第3回有識者委員会の審議内容
- (2)複数案の比較評価
- (3)事務局提案(概略計画案の選定、対応方針案の作成(素案))について



4. 議 事 録

委員会規約について

- ・ 規約第8条3項では非公開とする場合を規定しているが、今回の会議の内容は、非公開に該当しないため公開とし、事務局にて議事概要を作成し、委員の確認を得た後にホームページ等で公表する。

- (1)これまでの取り組みと第3回有識者委員会の審議内容
- (2)複数案の比較評価

- ・ 南部ルートが候補から外れた理由は理解できるが、南部ルートを除外した理由について(資料がわかりにくい)表現に工夫が必要である。
- ・ 産業面や既存の都市基盤の集積を活かす観点から、南部ルートを外すことに反対意見はなく、南部ルート周辺の幹線道路の整備推進等(4車線化等)を併せて検討することで、市街地北部及び市街地通過ルートの2案を比較案とすることについて問題ないと改めて判断する。
- ・ 生活・自然環境等への影響に関する内容について、道路整備の場合、生態系ネットワークの分断や農地への影響が問題になることから、今後詳細な検討を進めていく上で評価を追加することが望ましい。これ以外の項目については、現段階では意見聴取等が十分行われており、問題ない。
- ・ どちらの案においても、道路を作ることにより、大気環境・騒音など周辺住民への配慮が必要であり、今後の段階では具体的な対応策を提示していくことで住民の理解がより得られるのではないかと。
- ・ 地元市の意見も踏まえた上で検討していることがわかるように資料に記載することが望ましい。
- ・ ハード面の対応だけでなく、今後の段階ではソフト面との連携についても検討することが望ましい。
- ・ 複数案の比較評価について、項目や評価を妥当と判断する。

- (3)事務局提案(概略計画案の選定、対応方針案の作成(素案))について

- ・ ルートの選定理由について、産業の支援だけでなく、交通渋滞の解消なども追記するべきではないか。
- ・ P6は“その他”ではなくそれぞれ項目として挙げるのが望ましい(例えば、周辺道路整備計画との調整、整備の延伸、インターチェンジの検討、環境の項目)。
- ・ 概略計画案の選定のために県民等の意見、地元市の意見を聞いたことを明示することが望ましい。
- ・ 今後、検討・整備が進む過程での時間軸で配慮・留意事項をまとめることが望ましい(事業化、供用、維持管理等)。
- ・ 景観への配慮、周辺の街路も含めた地域の道路ネットワークのあり方、環伊勢湾のような大きなネットワーク、将来の土地利用との整合や防災面でのソフト対策との連携についても留意が必要。

以上